

# 島根県商工会地域 第162回中小企業景況調査報告書（簡易版）

（令和2年10月～12月期実績 令和3年1月～3月期予測）

令和2年12月

島根県商工会連合会

■調査対象：企業数150（出雲隠岐地区90 石見地区60）

《小売業：44 サービス業：55 製造業：29 建設業：22》

**業況は改善傾向にあるが、コロナ禍での経営は依然厳しい。**

## ■業種別業況天気図

天気図のよみ方

業種	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年	見通し
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
小売業						
サービス業						
製造業						
建設業						

	表示	DI
特に好転		50.1～100
好転		25.1～50.0
やや好転		0.1～25.0
やや悪化		0.0～▲25.0
悪化		▲25.1～▲50.0
特に悪化		▲50.1～▲100.0

## ■経営上の問題点（1位の問題点）

業種	1位	2位	3位
小売業	大型店の進出による競争の激化	購買力の他地域への流出	消費者ニーズの変化
サービス業	需要の停滞	利用者ニ－変化	従業員の確保難
製造業	需要の停滞	熟練技術者の確保難	生産設備の不足・老朽化
建設業	従業員の確保難	民間需要の停滞	官公需要の停滞

## 【業種全体の概要】

業種	業況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
	前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
全業種	好転①	10.1	増加①	13.4	好転①	12.2	好転①	9.4
	不変	38.5	不変	27.5	不変	42.6	不変	58.4
	悪化②	51.4	減少②	59.1	悪化②	45.2	悪化②	32.2
	DI①-②	▲41.3	DI①-②	▲45.7	DI①-②	▲33.0	DI①-②	▲22.8

●数値は企業の回答割合（%）

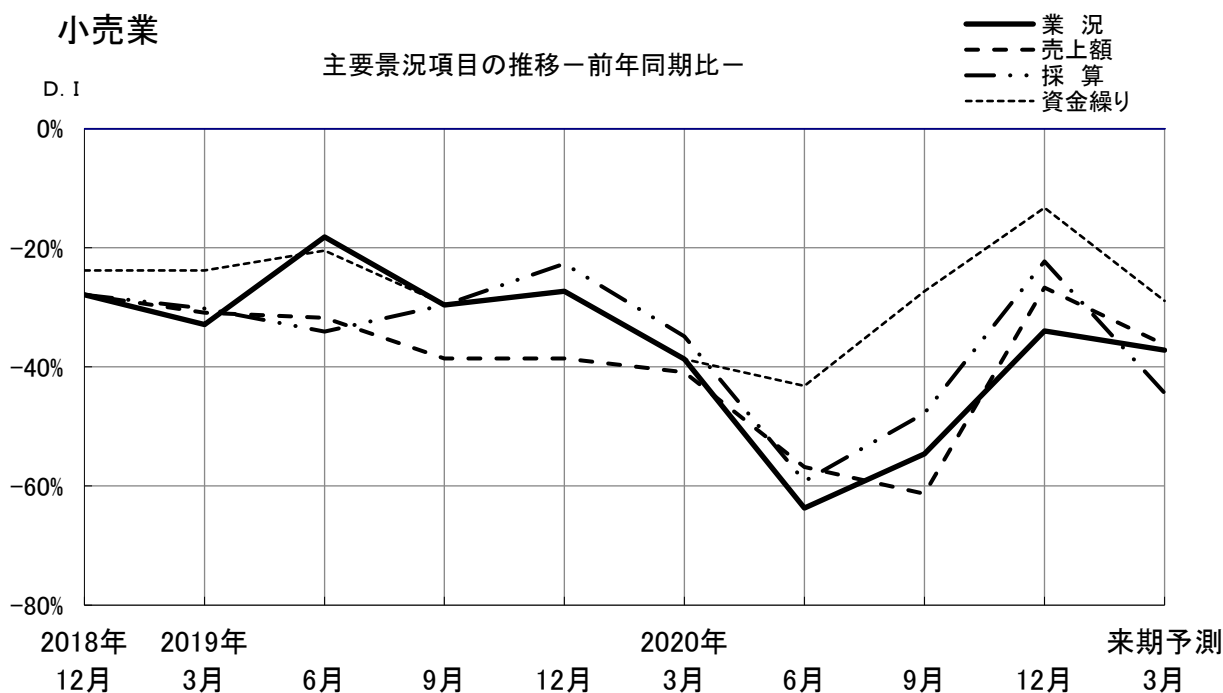
●DIとは景気を判断する指数であり、各調査項目についての「①好転（増加）」と答えた企業割合と「②悪化（減少）」と答えた企業割合の差（ポイント）を示すものである。

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が10.1%。「悪化」したと回答した企業が51.4%。  
DI（景気判断指数）が▲41.3で前期調査（7-9月）より17.7ポイント上昇。業況は好転した。  
来期（1-3月）は▲38.7ポイントで2.6ポイント上昇。小幅な好転と予測する。
- ★売上額が前年同期比で「増加」したと回答した企業が13.4%。「減少」したとの回答が59.1%。  
DI（景気判断指数）が▲45.7で前期調査より25.5ポイント上昇。売上額は大幅に増加した。  
来期は▲43.5ポイントで2.2ポイント上昇。小幅な増加と予測する。
- ★採算が前年同期比で「好転」したと回答した企業が12.2%。「悪化」したと回答した企業が45.2%。  
DI（景気判断指数）が▲33.0で前期調査より22.6ポイント上昇した。採算は大幅に好転した。  
来期は▲41.2ポイントで8.2ポイント低下。小幅な悪化と予測する。
- ★資金繰りが前年同期比で「好転」したと回答した企業が9.4%。「悪化」したと回答した企業が32.2%。  
DI（景気判断指数）が▲22.8で前期調査より18.9ポイント上昇した。資金繰りは好転した。  
来期は▲31.5ポイントで8.7ポイント低下。小幅な悪化と予測する。

**【小売業】 業況は2期連続で好転した。来期は小幅な悪化と予測する。**

業況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	11.4	増加①	20.0	好転①	13.3	好転①	11.1
不変	43.2	不変	33.3	不変	51.1	不変	64.5
悪化②	45.4	減少②	46.7	悪化②	35.6	悪化②	24.4
DI①-②	▲34.0	DI①-②	▲26.7	DI①-②	▲22.3	DI①-②	▲13.3

- ★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が11.4%。「悪化」したと回答した企業が45.4%。  
DI（景気判断指数）は▲34.0で前期（7-9月）調査より20.6ポイント上昇。業況は大幅に好転した。  
来期は▲37.2で3.2ポイント低下。小幅な悪化と予測する。 ※項目推移グラフ ※業況天気図
- ★その他では、売上額のDIは▲26.7で前期調査より34.6ポイント上昇。採算は▲22.3で前期調査より25.5ポイント上昇。資金繰りは▲13.3で前期調査より14.0ポイント上昇。  
売上額と採算は大幅に好転した。 ※項目推移グラフ



**【サービス業】 業況は2期連続で好転した。来期も続くと予測する。**

業況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	7.3	増加①	7.3	好転①	5.5	好転①	5.5
不変	32.7	不変	21.8	不変	36.4	不変	45.5
悪化②	60.0	減少②	70.9	悪化②	58.1	悪化②	49.0
DI①-②	▲52.7	DI①-②	▲63.6	DI①-②	▲52.6	DI①-②	▲43.5

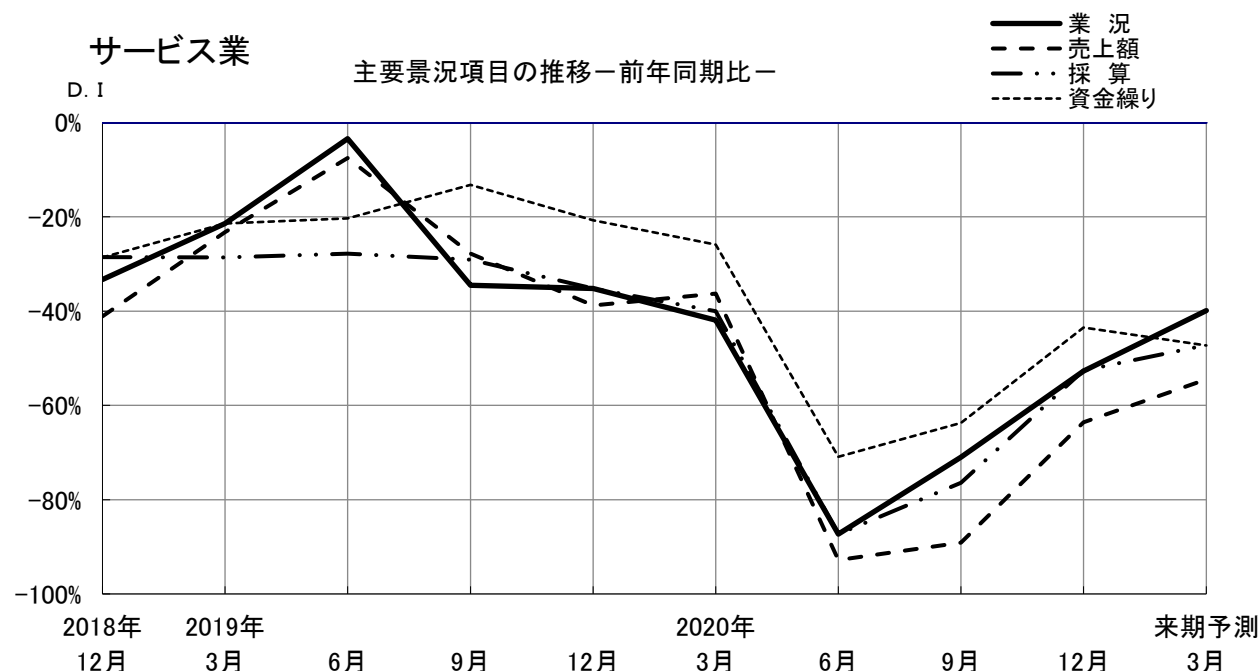
★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が7.3%。「悪化」したと回答した企業が60.0%。

DI（景気判断指数）は▲52.7で前期（7-9月）調査より18.3ポイント上昇。業況は好転した。

来期は▲39.9で12.8ポイント上昇。好転と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、売上額のDIは▲63.6で前期調査より25.5ポイント上昇。採算は▲52.6で前期調査より23.8ポイント上昇。資金繰りは▲43.5で前期調査より20.2ポイント上昇。

各項目とも大幅に好転した。 ※主要項目の推移グラフ参照



**【製造業】 業況は今期好転した。来期も続くと予測する。**

業況		売上額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	10.7	増加①	14.3	好転①	22.2	好転①	14.3
不変	32.1	不変	14.3	不変	29.6	不変	57.1
悪化②	57.2	減少②	71.4	悪化②	48.2	悪化②	28.6
DI①-②	▲46.5	DI①-②	▲57.1	DI①-②	▲26.0	DI①-②	▲14.3

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が10.7%。「悪化」したと回答した企業が57.2%。

DI（景気判断指数）は▲46.5で前期（7-9月）調査より28.5ポイント上昇。業況は大幅に好転した。

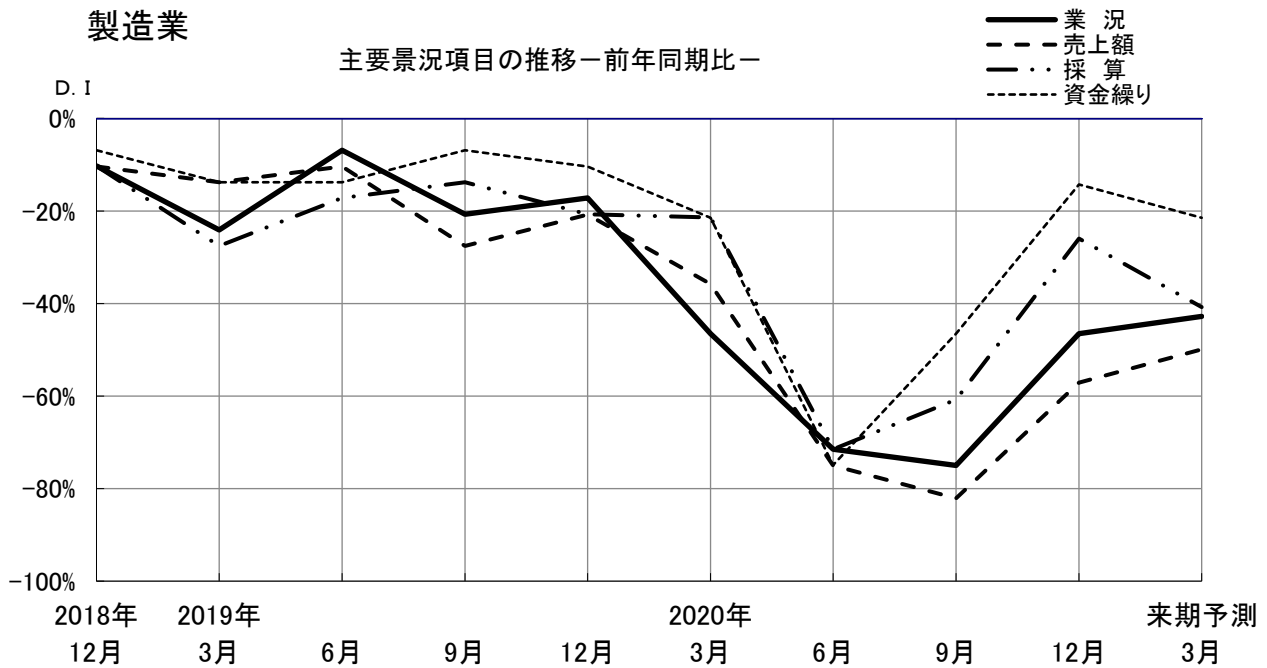
来期は▲42.8で3.7ポイント上昇。小幅な好転と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、売上額のDIは▲57.1で前期調査より25.0ポイント上昇。採算は▲26.0で前期調査より34.8ポイント上昇。資金繰りは▲14.3で前期調査より32.2ポイント上昇。

各項目とも大幅に好転した。 ※主要項目の推移グラフ

## 製造業

主要景況項目の推移—前年同期比—



## 【建設業】 業況は横這い。来期は悪化と予測する。

業況		完成工事額		採算（経常利益）		資金繰り	
前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
好転①	14.3	増加①	14.3	好転①	14.3	好転①	9.5
不変	52.4	不変	47.6	不変	57.1	不変	81.0
悪化②	33.3	減少②	38.1	悪化②	28.6	悪化②	9.5
DI①-②	▲19.0	DI①-②	▲23.8	DI①-②	▲14.3	DI①-②	0.0

★業況が前年同期比で「好転」したと回答した企業が14.3%。「悪化」したと回答した企業が33.3%。

DI（景気判断指数）は▲19.0で前期（7-9月）調査より0.8ポイント低下。業況は前期並み。

来期は▲33.3で14.3ポイント低下。悪化と予測する。※項目推移グラフ ※業況天気図

★その他では、完成工事額のDIは▲23.8で前期調査より8.0ポイント上昇。採算は▲14.3で前期調査より0.6ポイント低下。資金繰りは0.0で前期調査より9.1ポイント上昇。

完成工事額と資金繰りは小幅に好転した。 ※項目推移グラフ

